

はしがき

神戸は1868年の開港以来、多数の国からの外国人が移り住み、多様な文化を持つ国際都市として知られている。緑豊かな六甲山と国際貿易港である神戸港に囲まれ、日本三名湯と称される有馬温泉を有する非常に恵まれた自然環境を市民は享受してきた。またこの環境のもと、市民は未知のものに対する深い興味・好奇心、新しいものを恐れずに心を開いて受け入れる姿勢を有している。

この恵まれた立地条件と「神戸っ子」の気質によって、全国に先駆けて海外の文化を素早く取り入れることができ、多様性のある魅力的で活力ある街を実現した。

しかし、不幸なことに1995年に大震災に見舞われ、美しい街が瓦礫の山と化した。その試練を市民は克服し、みごとに街を再建し、地震前にも増して素晴らしい景観を作り上げた。この再生した街に多くの国から外国人・多民族が定住・訪問し、「多文化共生社会」を実現している。

これらの海外の人たちをも惹きつけるのは、神戸独自の「ファッション」「菓子」「音楽」「映画」「文学」などであり、これらの神戸の文化は国内にとどまらず、世界に誇れるものである。さらに、ポートアイランドにおいて先端医療技術の研究開発拠点を整備し、「神戸医療産業都市」を築き上げ、神戸から最先端の医療技術を世界に発信すると同時に、市民も高度な最先端の医療を受ける機会に恵まれている。

この神戸の魅力を再発見するために本書は生まれた。本書のもとになったのは神戸市看護大学の「神戸学」の講義である。同大学は2006年に同講義を始め、同大学の学生だけでなく、単位互換講座として、神戸研究学園都市大学交流推進協議会加盟大学（神戸芸術工科大学、神戸市外国語大学、兵庫県立大学、流通科学大学、神戸市立工業高等専門学校）の学生さんも毎年数多く受講し、さまざまな角度から「神戸」を学んでいる。

「神戸学」の講師であり本書の執筆者は、神戸に根付き、それぞれの分野において独自の立場で神戸に貢献してきた人たちである。専門家としての視点で、神

戸を深く研究し、神戸市民が心豊かに健康に過ごせるように努力を重ねてきた。

なお、個性豊かな執筆者の文体を尊重し、あえて統一していないが、ご理解を賜りたい。

今回、大学での講義をまとめることで、神戸の大学生だけでなく、広く全国の方々に神戸の奥深い魅力を知っていただきたいと願っている。最後に、本書の出版にあたり、ご尽力いただきました大学教育出版の佐藤守氏、安田愛氏に心より感謝申し上げます。

2012年2月

編者 川越 栄子

神戸地域学
— 神戸の魅力再発見! —

目次

はしがき	i
第1章	神戸学歴史編 —源平、一ノ谷の戦いの分析—	田辺 真人 1
1.	地域学・地域史について	1
2.	源平合戦	2
	(1) 平清盛と神戸 2	
	(2) 清盛死後の源平の動向 4	
3.	『平家物語』の描く鶴越はどこか	6
	(1) 「一ノ谷の後なる鶴越」という『平家物語』 7	
	(2) 兵庫区背山にある鶴越 7	
	(3) 『平家物語』の矛盾点 8	
	(4) 『吾妻鏡』と『義経記』からのヒント 9	
	(5) 広義・狭義の「一ノ谷」 10	
第2章	神戸開港 —国際都市神戸の原点—	楠本 利夫 14
1.	「安政五か国条約」	14
	(1) 兵庫開港を取り決め 14	
	(2) 横浜開港 15	
	(3) 開港延期交渉団（「文久遣欧使節団」） 16	
	(4) 神戸が開港場に 18	
2.	神戸開港式	19
	(1) 神戸開港式 19	
	(2) 神戸沖の外国大艦隊 21	
	(3) 外国人が見た神戸開港 22	
	(4) 「神戸事件」 24	
3.	神戸外国人居留地	26
	(1) 居留地建設 26	
	(2) 居留地「永代借地権」競売 26	
	(3) 雑居地、外国人遊歩区域 27	
	(4) 外国領事館 28	
	(5) 居留地返還 28	
4.	神戸開港の意義	30

第3章	神戸のファッション	
	—おしゃれな町・神戸の過去・現在・未来—	見寺 貞子 34
1.	生活文化を彩るファッション	35
2.	「おしゃれな町・神戸」の変遷	35
	(1) 兵庫開港と居留地の誕生	35
	(2) 居留地にみる外国人文化	36
	(3) 居留地から生まれたファッション産業	37
	(4) 西洋文化との融合から生まれた神戸ファッション	38
3.	ファッション都市づくりの基本構想と変遷	38
	(1) 神戸ファッション都市宣言の公表	39
	(2) 「神戸ファッション」というブランドの確立	39
4.	「ファッション都市・神戸」の現状	42
	(1) 神戸のファッション産業の現状	42
	(2) 「ファッション都市・神戸」の取組み	43
5.	「ファッション都市・神戸」から「デザイン都市・神戸」へ	48
第4章	神戸の洋菓子	佐野 靖夫 52
1.	洋菓子を生んだ歴史と神戸ウォーター	52
2.	洋菓子協会の発展	53
3.	世界の菓子	54
4.	ストレス社会における洋菓子の役割	54
第5章	神戸のラジオの佳き時代から現代まで	末廣 光夫 56
1.	ラジオの佳き時代	56
	(1) ラジオ神戸	56
	(2) ジャズ番組のスタート	57
	(3) 電話リクエスト	58
2.	神戸の音楽の伝統を守り続けよう 神戸ジャズストリートが登場	59
	(1) 全日本デイクシーランド・ジャズ・フェスティバル	59
	(2) 神戸ジャズストリート	60

第6章	神戸と映画	田中 まこ	65
	1. 「映画が初めて公開されたまち」から 「映画が撮影されるまち」に		65
	(1) 神戸フィルムオフィスとは	65	
	(2) 神戸フィルムオフィスの役割	66	
	(3) 映画を支援するメリット	67	
	2. 神戸で撮影された映画		67
	(1) 神戸で撮影された1999年以前の映画	68	
	(2) 神戸で撮影された2000年以降の映画	68	
	3. 映画のまち、神戸の未来像		76
第7章	神戸のことばと文学	藤代 節	80
	1. 神戸のことば		80
	(1) 現代日本語区分と近畿方言	80	
	(2) 神戸のことば	81	
	(3) 神戸のことばの性格	85	
	2. 神戸の文学		88
	(1) 『源氏物語』第十二 須磨の巻	88	
	(2) 『小倉山百人一首』より	90	
	(3) 『猫と庄造と二人のおんな』	91	
	(4) 『火垂るの墓』	93	
	(5) 『僕に踏まれた町と僕が踏まれた町』	94	
第8章	神戸の医療	北 徹	97
	1. 神戸の医療の現状		97
	(1) 神戸市の医療機関	97	
	(2) 医師不足の問題	97	
	2. 神戸市立医療センター中央市民病院の歴史		100
	3. 看護部		101
	4. 神戸市の救急医療体制		103
	(1) 神戸市の救急医療の歴史	103	
	(2) 日本独自の救急医療体制と神戸市の体制	103	
	(3) 救急医療の現状	105	
	(4) 救急医療を枯渇させないために	108	
	5. 地域・神戸市立医療センター中央市民病院の課題		109

3. 有馬の「温泉」について —湧くはずのない所に湧く温泉—	137
4. 神戸、有馬の観光客の傾向	140
5. 発地型観光、着地型観光	142
6. 名物の創造	142
7. 有馬温泉ゆけむり大学	143
8. まちづくり資金のあり方	145
第12章 都市山六甲	服部 保 147
1. 六甲の特色	147
2. 都市山	147
3. 2つの気候帯	150
4. 生物交流・共生の場	152
5. 植生の変遷	155
6. はげ山の植生復元	157